



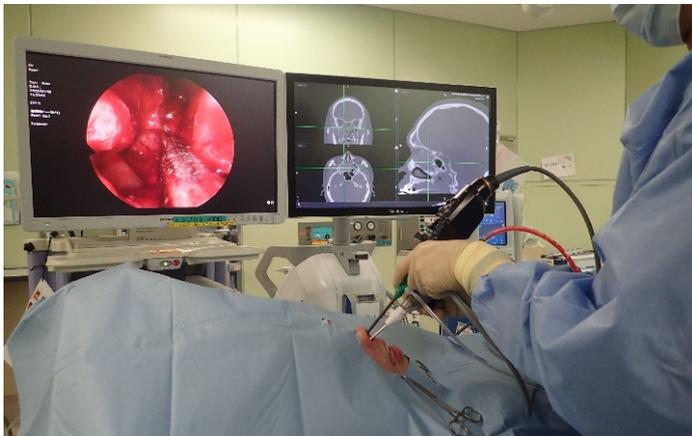
病診連携通信

第 41 号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂総合病院
令和 4年 4月 吉日

鼻副鼻腔手術にナビゲーションシステムを導入いたしました

鼻副鼻腔炎に対する手術は現在、内視鏡下手術が広く行われています。外切開による手術と比較して、低侵襲でより繊細な手術操作が可能ですが、一方で、頭蓋底損傷、眼窩内壁損傷などのリスクが伴います。また、鼻副鼻腔の解剖学的バリエーションが多いことや、重症例では出血による視野不良のため時に手術操作困難となることから、根治性の低下が起こりえます。



術中写真。左の内視鏡画面の手術器具位置が右のCT画像に示されている。

導入により手術操作部位がCT画像上の位置情報としてリアルタイムに表示でき、前述の副損傷の回避、根治性の向上がより可能となります。従来機種に比べ、磁場発生装置が頭の下に敷くタイプとなり全身麻酔や手術操作の妨げとならない、レジストレーション(手術前の位置合わせ)が視覚的に確認でき簡便で信頼性の向上につながるなどの特徴があります。

令和3年4月に鼻副鼻腔手術用ナビゲーションシステムであるStealthStation ENTナビゲーションシステム(日本メドトロニック株式会社)を導入いたしました。



ナビゲーションシステム本体



レジストレーション(位置合わせ)画面。緑の楕円内が高信頼性範囲を示している。

当院においては以前より鼻副鼻腔手術に積極的に取り組んでおります。難治性の鼻副鼻腔炎でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご相談ください。

耳鼻咽喉科 山辺 習

寿泉堂総合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂総合病院 地域連携室

☎ 024-927-0760 (直通)

または

☎ 024-932-6363 (代表)

にお願い致します。